

# 色の原理

---

ヘアカラーを理解する上で絶対に外せない「**色の原理**」の理解。  
お客様への施術においての薬剤選定・後輩への教育の場面で  
まずはこれが理解できているかが最も重要になってきます。

# 色の三大要素とは？

---

全てのヘアカラーは色の三大要素である「明度・彩度・色相」から作られている。

ベースのイメージから仕上がりのイメージにする際「色の三大要素」がそれぞれどれくらいなのか？を考えながら薬剤選定をすることで、目的の色を出しやすくなります。



明度

=

明るさの度合い



彩度

=

鮮やかさの度合い



色相

=

色味の違い

# 明度とは？ ・ ・ ・ ティントの総量で明度が決まる

例) 同じグレーベース (色相は同じ) での明度の違い。

ティントの総量が多ければ多いほど明度は暗くなり、逆に少ないほど明度は明るくなります。

→ティント = 色相のこと (赤・黄・青の色味)

暗い



明るい

赤・黄・青の総量が **多い**

赤・黄・青の総量が **少ない**

# 彩度とは？ ・ ・ ・ 三原色のバランスで彩度が決まる

例) 同じ紫系のカラーでの彩度の違い。

グレーに近ければ近いほど彩度は低く、誰からみても何色が分かるカラーは彩度が高いと言えます。三原色のバランスで彩度が変わります。(後ほど解説します)

低い



高い

グレーに近い色味

誰から見ても紫に見える色味

# 色相とは？ ・ ・ ・ この7つをおさえておけばOK

いろいろな色相がありますが、基本的にこの7つをおさえておけば間違いありません。  
「お客様の求めている色相はこの中のどれか？」を探します。



無彩色 (黒・白)

アカ

アオ

キイロ

オレンジ

ムラサキ

ミドリ

# 練習問題

---

次のカラーの「明度・彩度・色相」を  
それぞれお答えください。



このカラーの  
明度・彩度・色相は??

明度  
A.高い  
B.低い

彩度  
A.高い  
B.低い

色相  
A.黄色  
B.青  
C.無彩色



このカラーの  
明度・彩度・色相は??

明度  
A.高い  
B.低い

彩度  
A.高い  
B.低い

色相  
A.赤  
B.無彩色  
C.紫



このカラーの  
明度・彩度・色相は??

明度  
A.高い  
B.低い

彩度  
A.高い  
B.低い

色相  
A.黄色  
B.青  
C.無彩色



このカラーの  
明度・彩度・色相は??

明度  
A.高い  
B.低い

彩度  
A.高い  
B.低い

色相  
A.紫  
B.青  
C.無彩色



このカラーの  
明度・彩度・色相は??

明度

- A.高い
- B.低い

彩度

- A.高い
- B.低い

色相

- A.黄色
- B.青
- C.無彩色



このカラーの  
明度・彩度・色相は??

明度

- A.高い
- B.低い

彩度

- A.高い
- B.低い

色相

- A.赤
- B.無彩色
- C.紫



このカラーの  
明度・彩度・色相は??

明度

- A.高い
- B.低い

彩度

- A.高い
- B.低い

色相

- A.黄色
- B.青
- C.無彩色



このカラーの  
明度・彩度・色相は??

明度

- A.高い
- B.低い

彩度

- A.高い
- B.低い

色相

- A.紫
- B.青
- C.無彩色

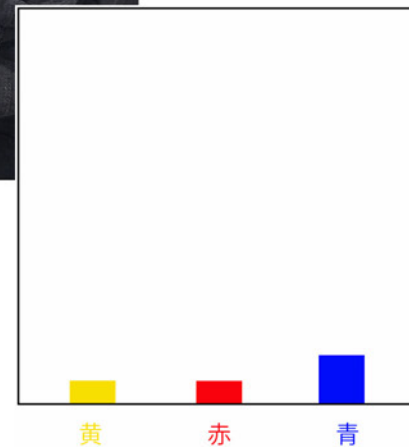
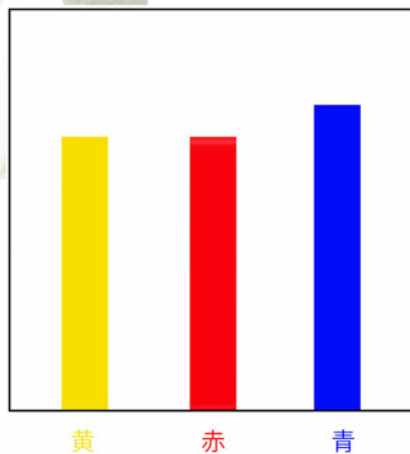


# 明度は「ティントの総量」で決まる。

髪の毛をコップに例えて考えてみます。

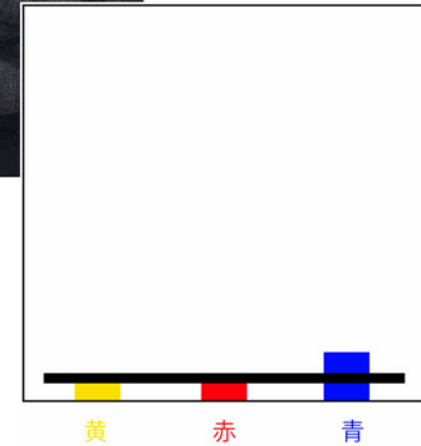
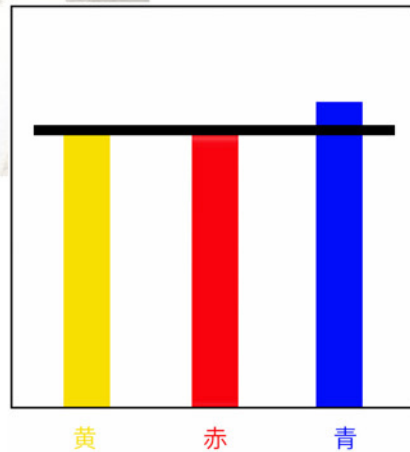
明度が低いのはコップがティントでいっぱいの状態。

明度が高いのはコップが空っぽに近い状態と言えます。



# グレーとシルバーをピグメントバーで考える。

黄・赤・青が同量だと「無彩色」になります。よって三原色が均一になるとグレーではなく「黒」  
低明度のグレーを作るのであればティントを多めにして黄・赤を同量にして青は少し多め。  
高明度のシルバーを作るのであればティント少なめで、同様に青を少しだけ多くして作ります。



## POINT

青が少し多いと  
グレーに見えやすい。

# 彩度は「三原色のバランス」で決まる。

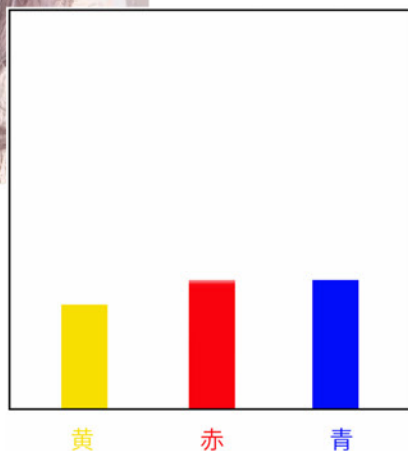
紫系のカラーで考えてみましょう。

髪の中の黄色に対して、赤と青がどのくらいの量入っているかで彩度が決まります。



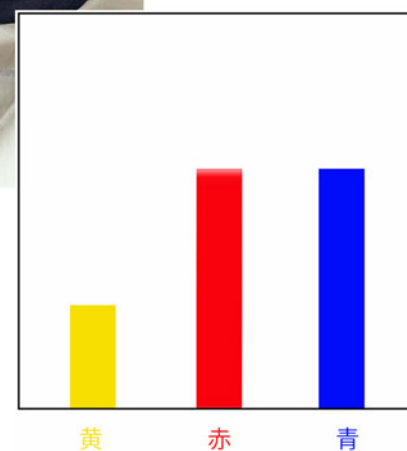
黄色の量よりも少しだけ  
赤と青が多い。

⇒ **彩度の低い紫**



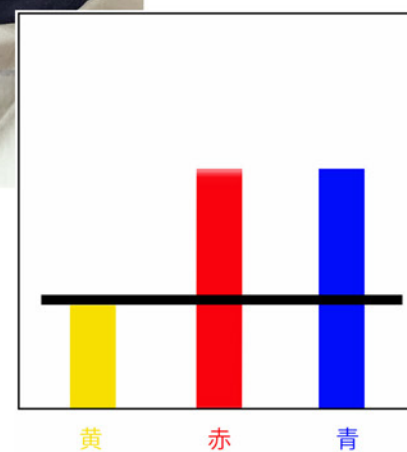
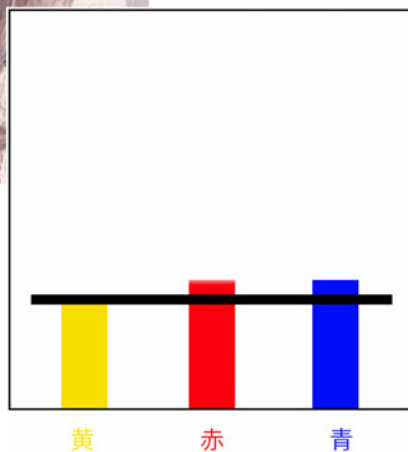
赤と紫の割合が  
さらに多い。

⇒ **彩度の高い紫**



# 紫カラーが上手く作れずにグレーになってしまうとき

原因としては髪の中の色素に対して赤と青の量が少ないということが挙げられます。  
グレーになってしまう時は、三原色のバランスが均一になってしまっているということ。  
カラー剤の明度を下げたり、コントロールカラーを使用して赤と青の割合を増やしてみましよう。



# 髪に含まれるメラニン早見表



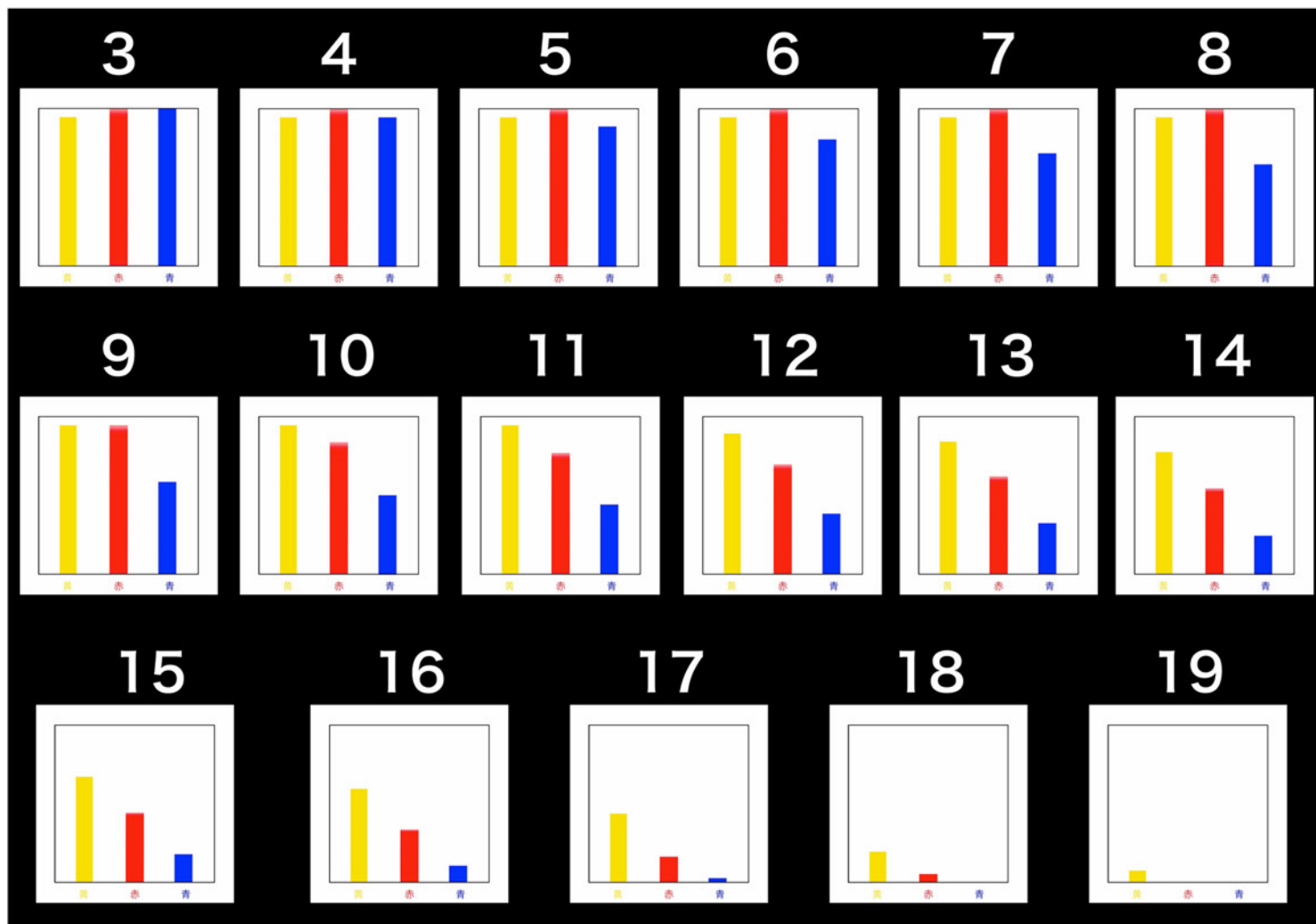
赤味が強くなる 黄色味が出てくる 黄色味が先行してくる ほぼ黄色になる ホワイト

髪のメラニンに対して何を足せば希望する色味になるのか？

レベルごとのメラニンをしっかりと理解しておくことをお勧めします。

# 髪に含まれるメラニンのピグメントバー

※お客様の髪は前回染めた残留ティントがある場合がほとんどなのであくまで参考として



# 色の混色

---

色が混ざり合う際のルールをマスターする

HAIR COLOR ACADEMY

# 色の混色とは？

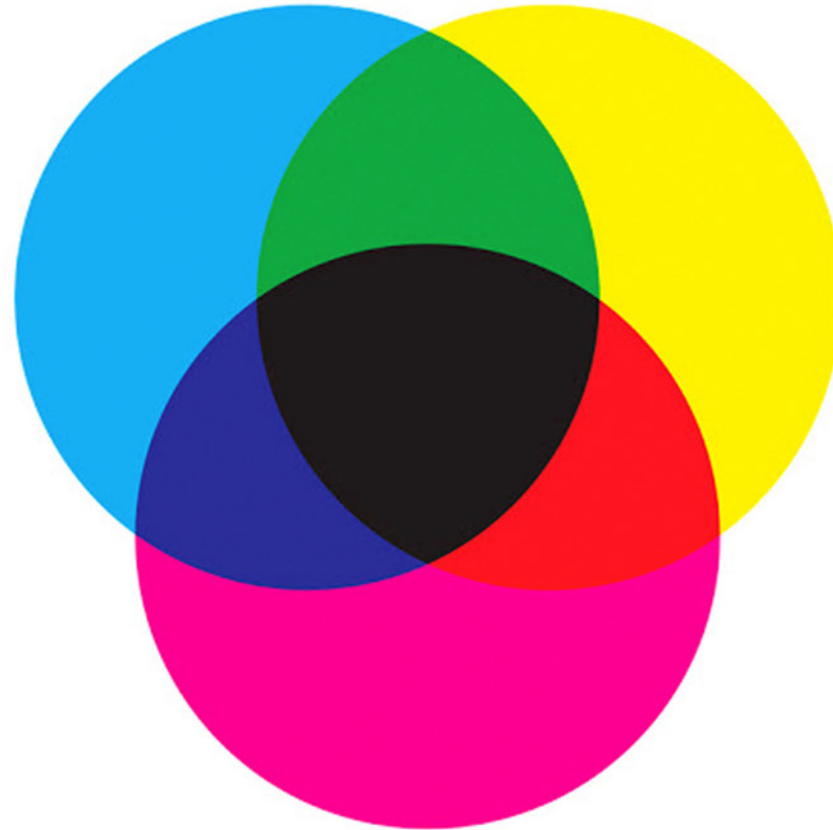
---

髪色は色同士が混ざり合うことでできている。

染める前の状態に、カラー剤が混ざることによって仕上がりの色になる。

## 減法混色

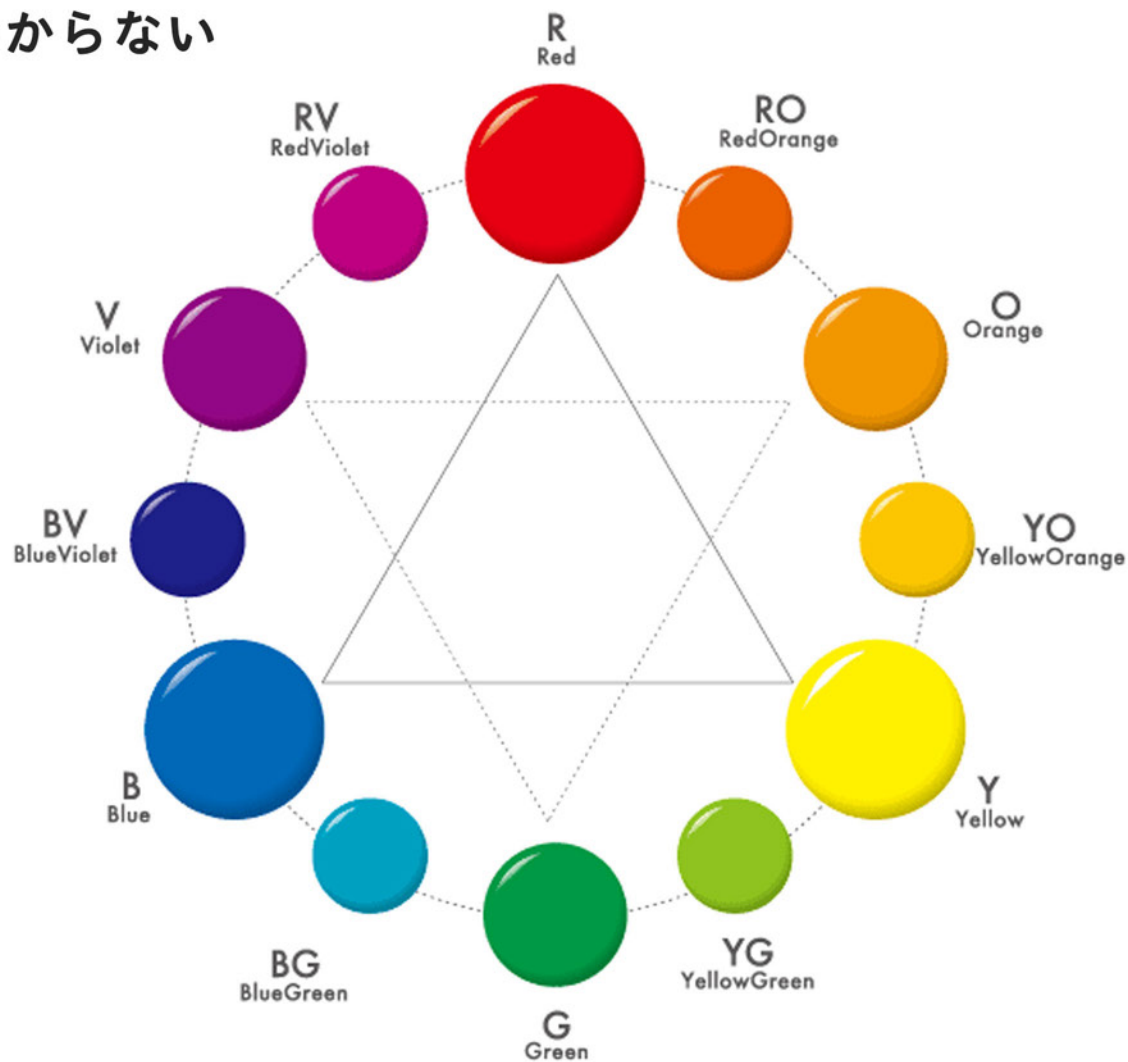
三原色が混ざると  
無彩色になる。





# 色相環で分かること

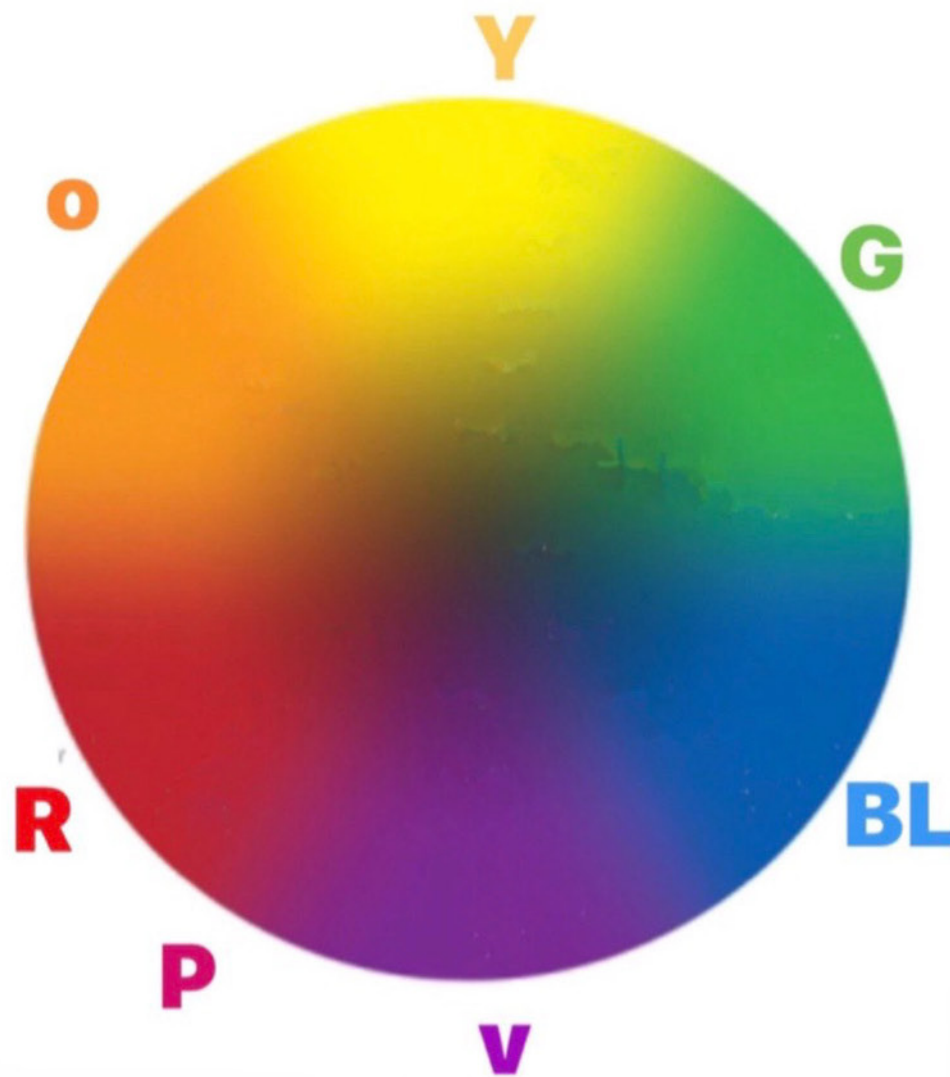
この色相環では明度、彩度、色相の三大要素のうち  
「色相」のみしかわからない



HAIR COLOR ACADEMY

# カラー薬剤選定におすすめの色相環

---



HAIR COLOR ACADEMY

# 色味のバリエーションは大きく分けると13通りある

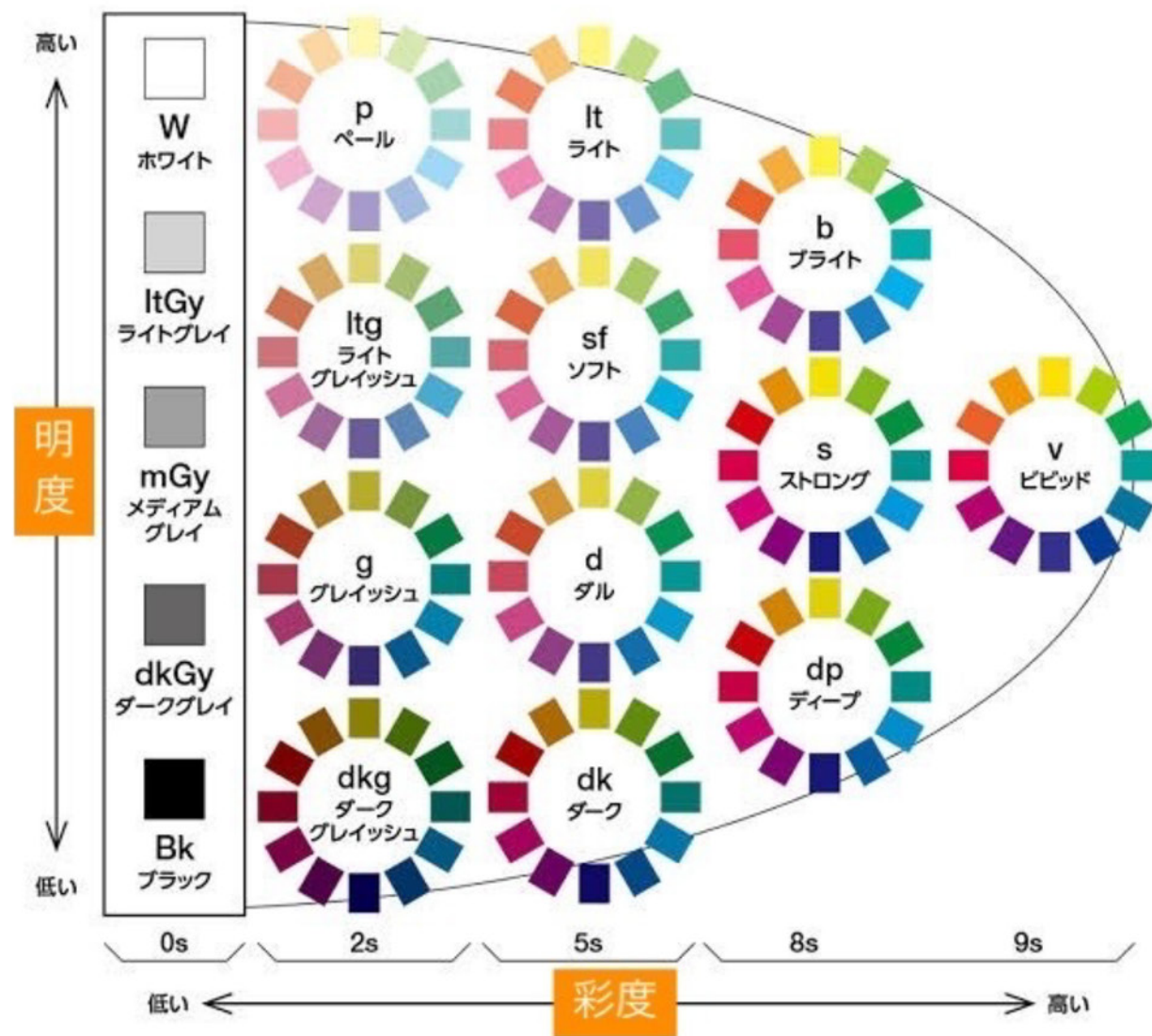
先ほどの色相環が  
明度別、彩度別、無彩色 込みで  
13通りあると考えてください。

## カラー剤について

3Lv 暗くて彩度が低い

13Lv 明るくて彩度が低い

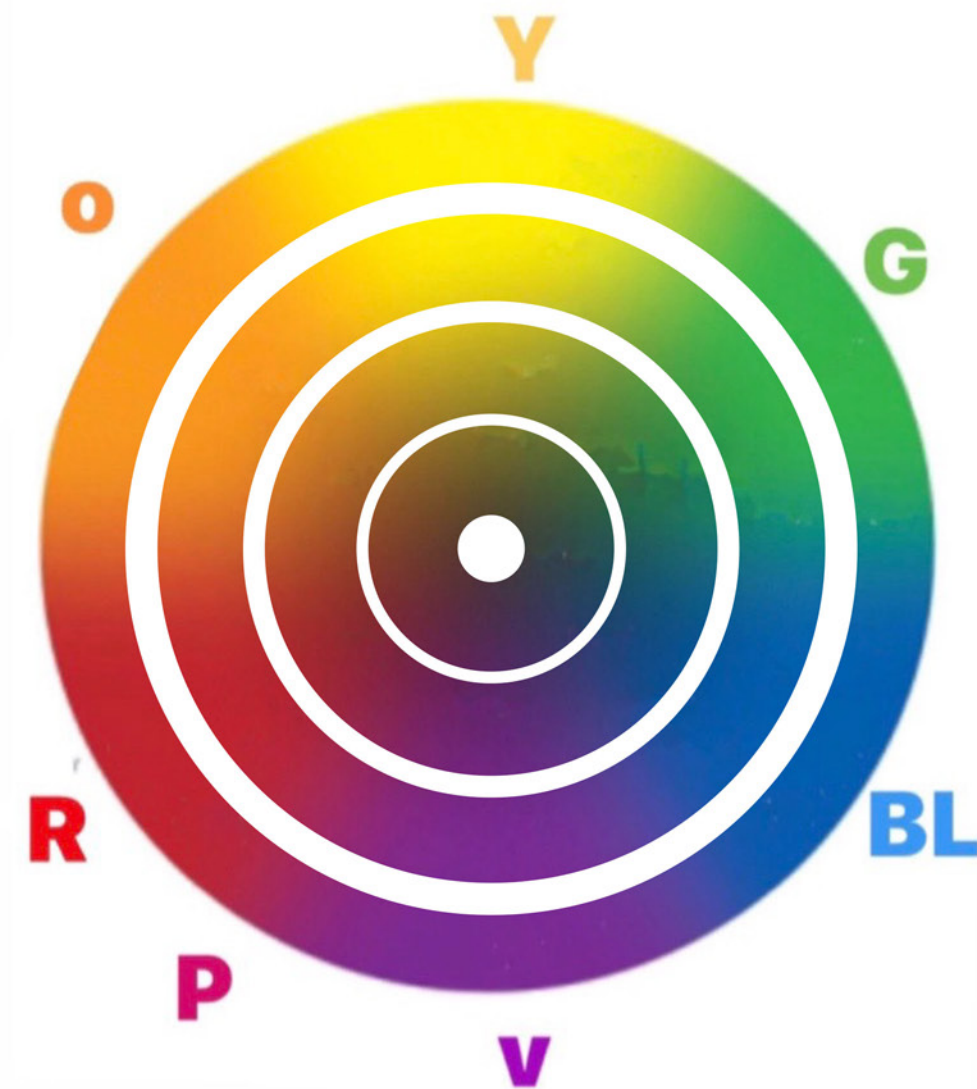
⇒ 彩度を強く出したい場合は  
7~8レベルを使用する  
(商材によります)



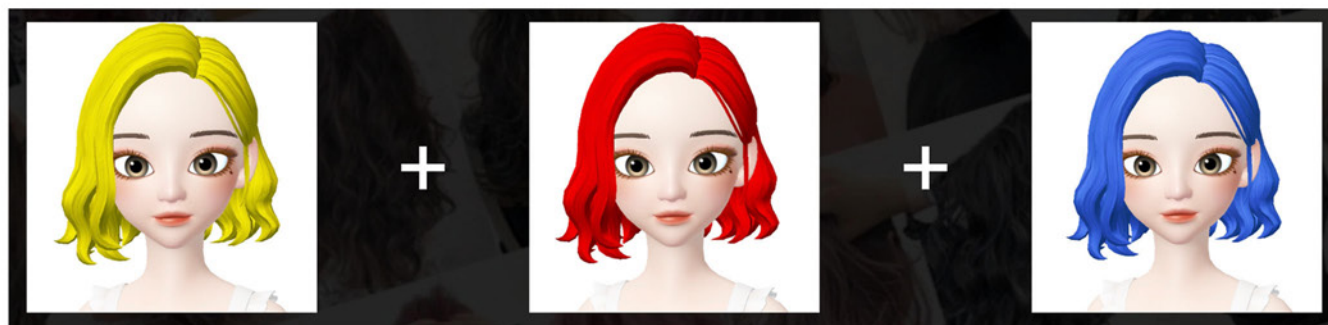
# 色相環の見方

端に行けば行くほど彩度が強い

中心に近づけば近づくほど彩度が低い



# 混色の基本



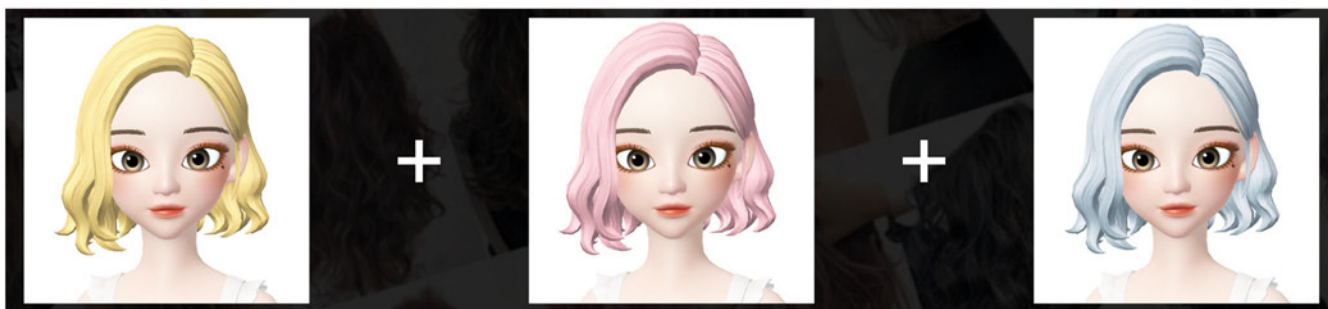
濃い黄色

濃い赤

濃い青



暗い無彩色



薄い黄色

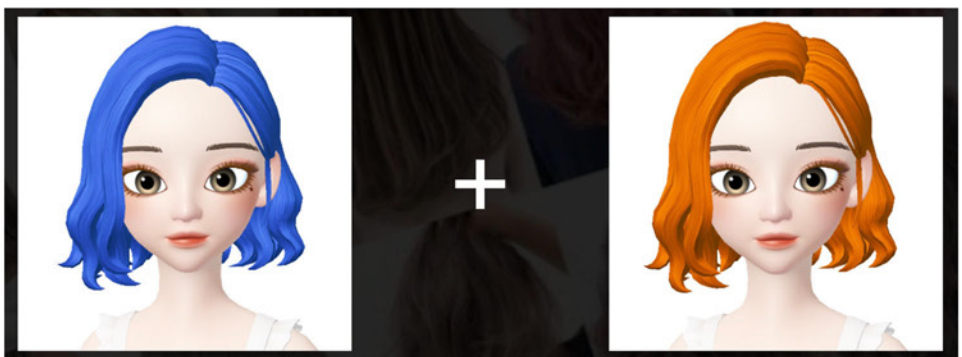
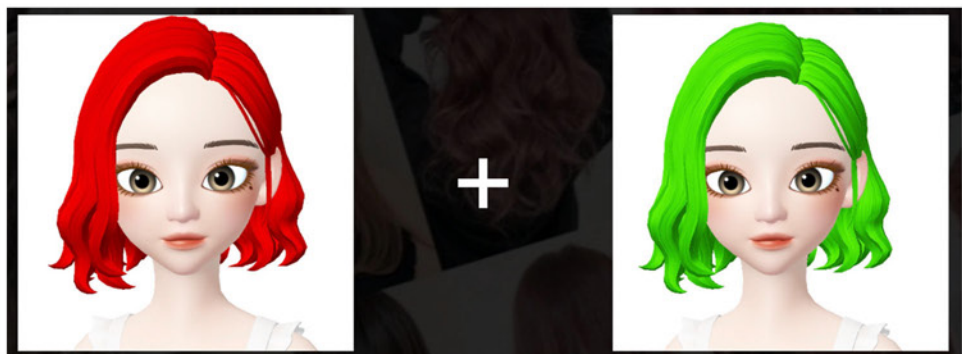
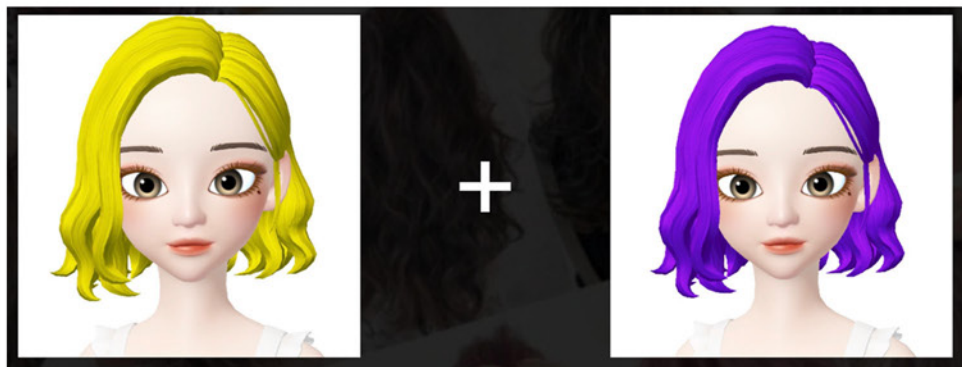
薄い赤

薄い青



明るい無彩色

# 混色の基本



同じ濃さの補色を混ぜても  
無彩色になります。



無彩色

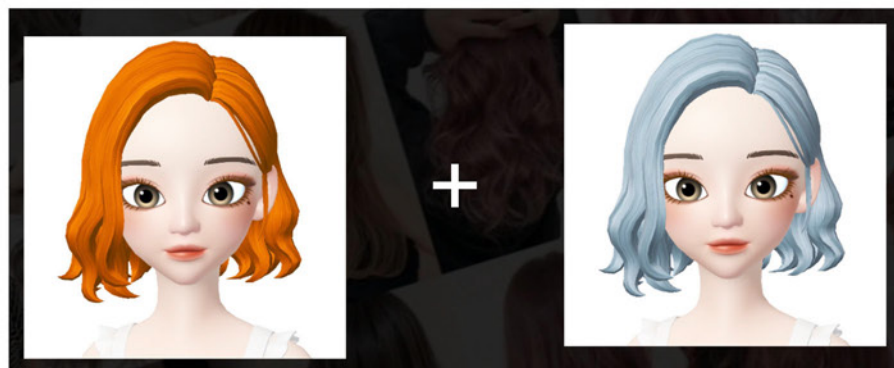
# 練習問題

---

次のカラーを混ぜ合わせると何色になるか  
それぞれお答えください。

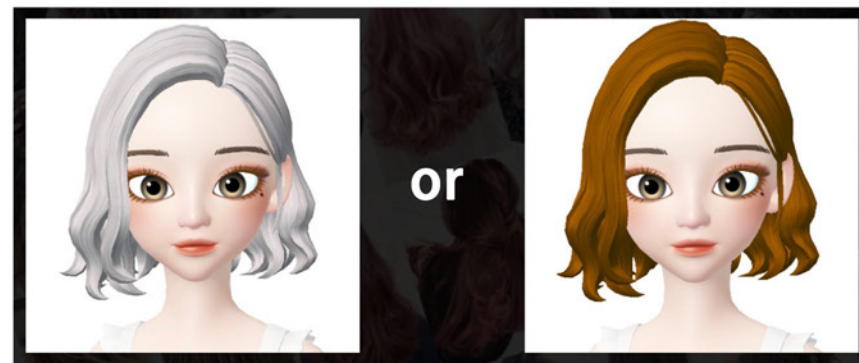
# 混ぜたらどうなる？

＼ お選びください ／



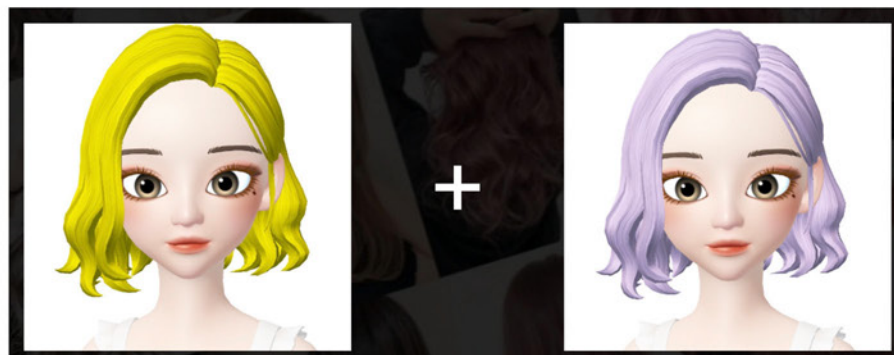
濃いオレンジ

薄い青



明るいシルバー

茶色



濃い黄色

薄い紫



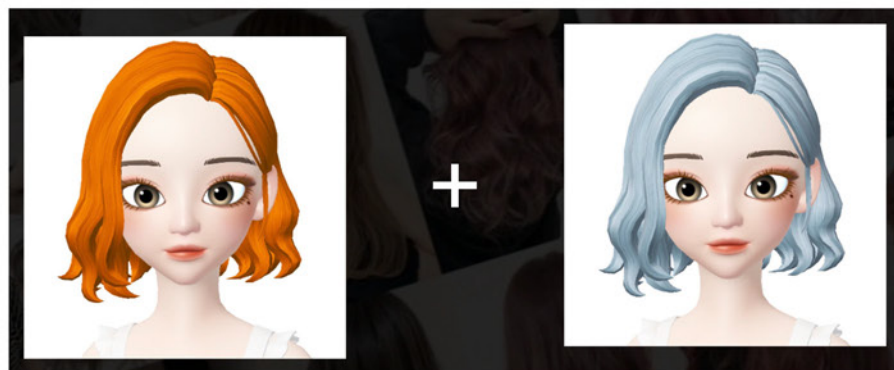
ブロンド

グレーパープル



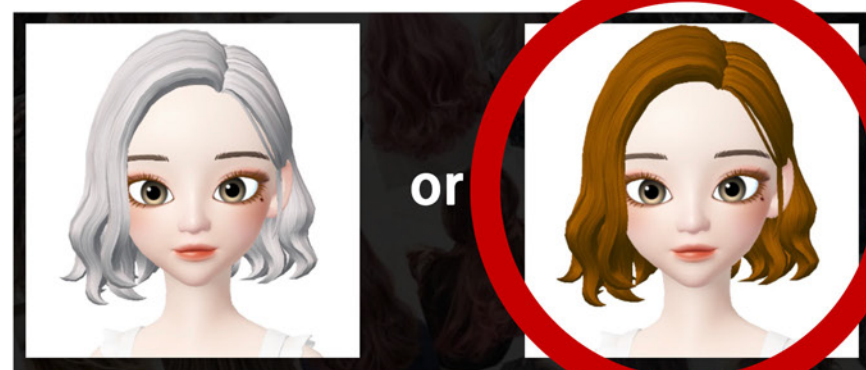
# 混色のルール

濃い色から薄い色は作れない



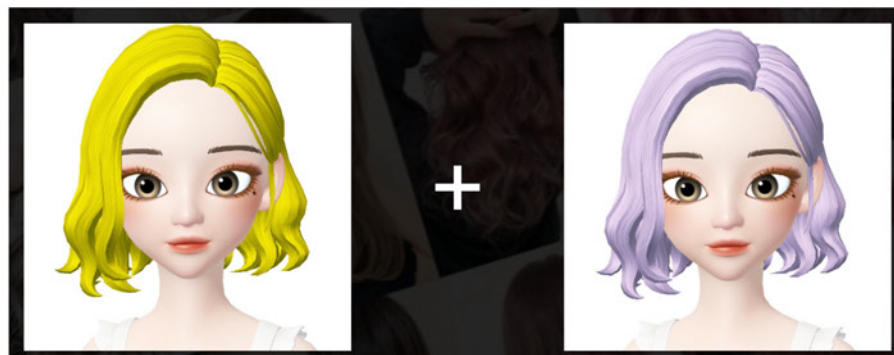
濃いオレンジ

薄い青



明るいシルバー

茶色



濃い黄色

薄い紫

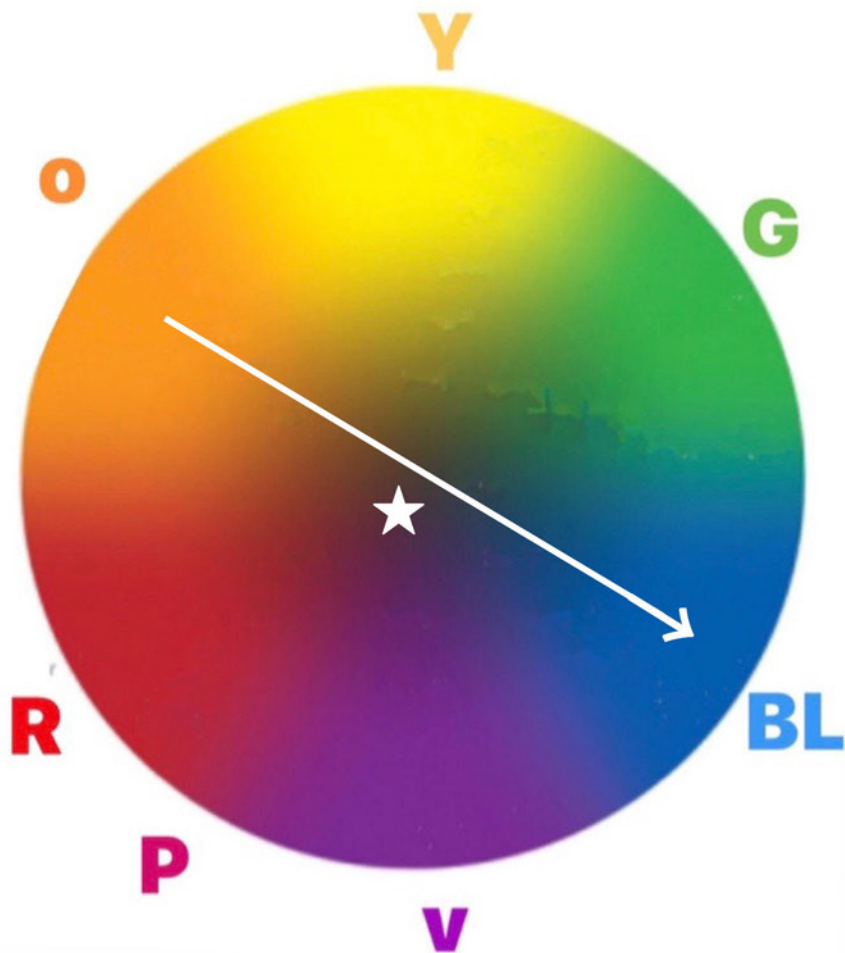


ブロンド

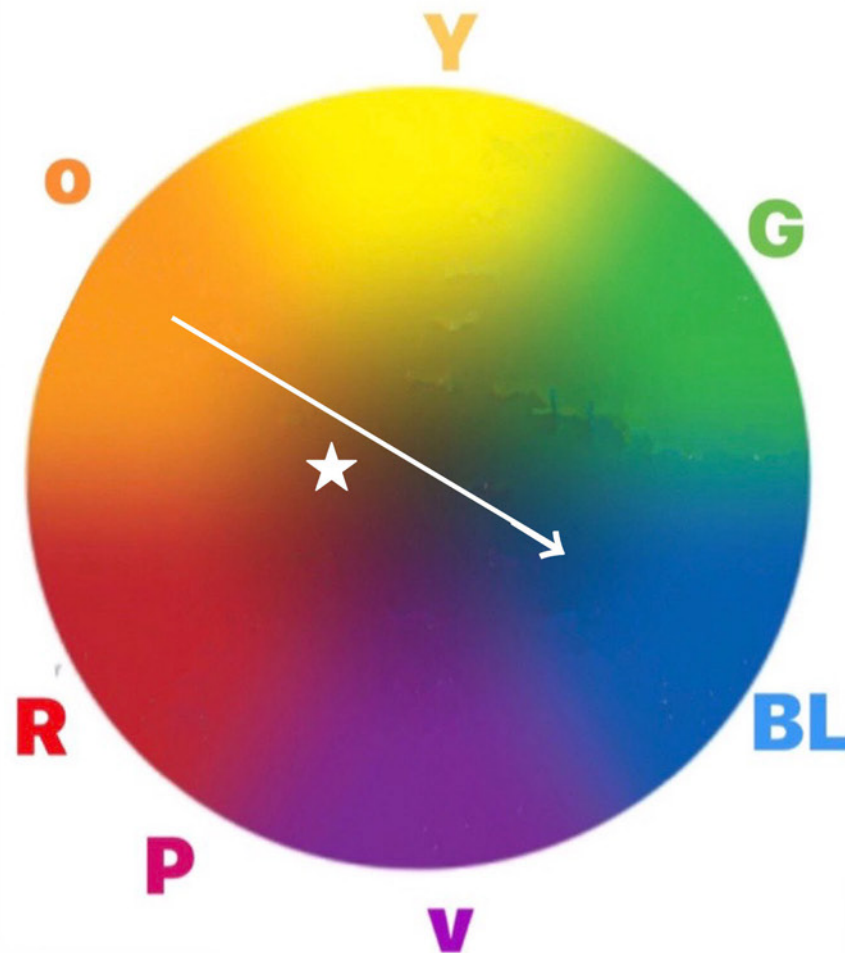
グレーパープル

# 混色を色相環で考える

濃いオレンジに濃い青を混ぜれば  
無彩色で色の移動がとまる。

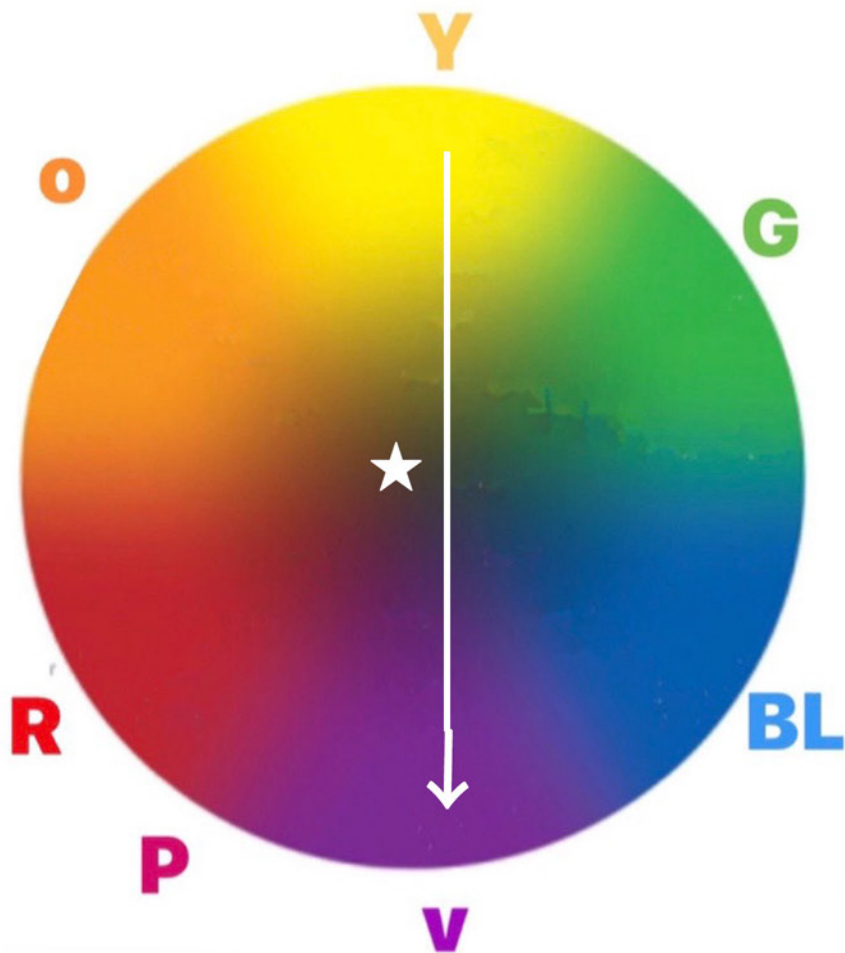


濃い黄色に薄い青を混ぜると  
無彩色よりも手前の茶色でとまる。

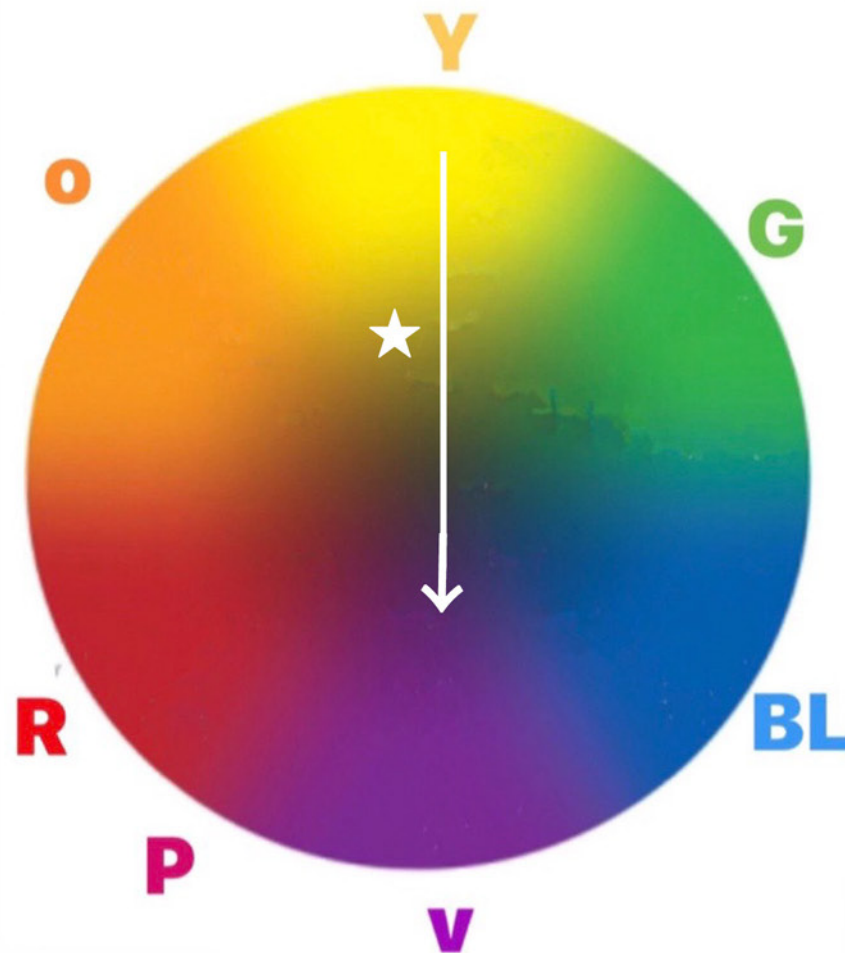


# 混色を色相環で考える

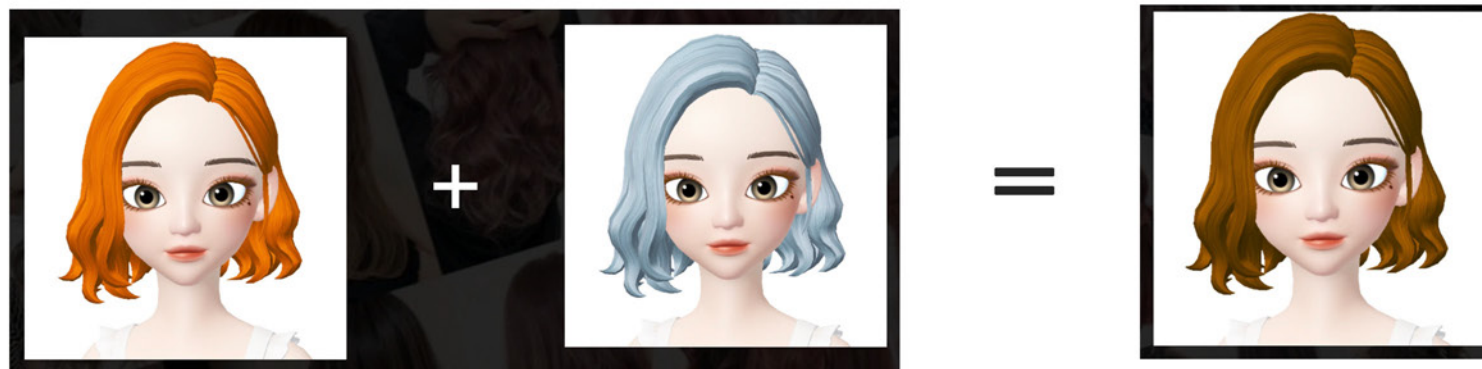
濃い黄色に濃い紫を混ぜれば  
無彩色で色の移動がとまる。



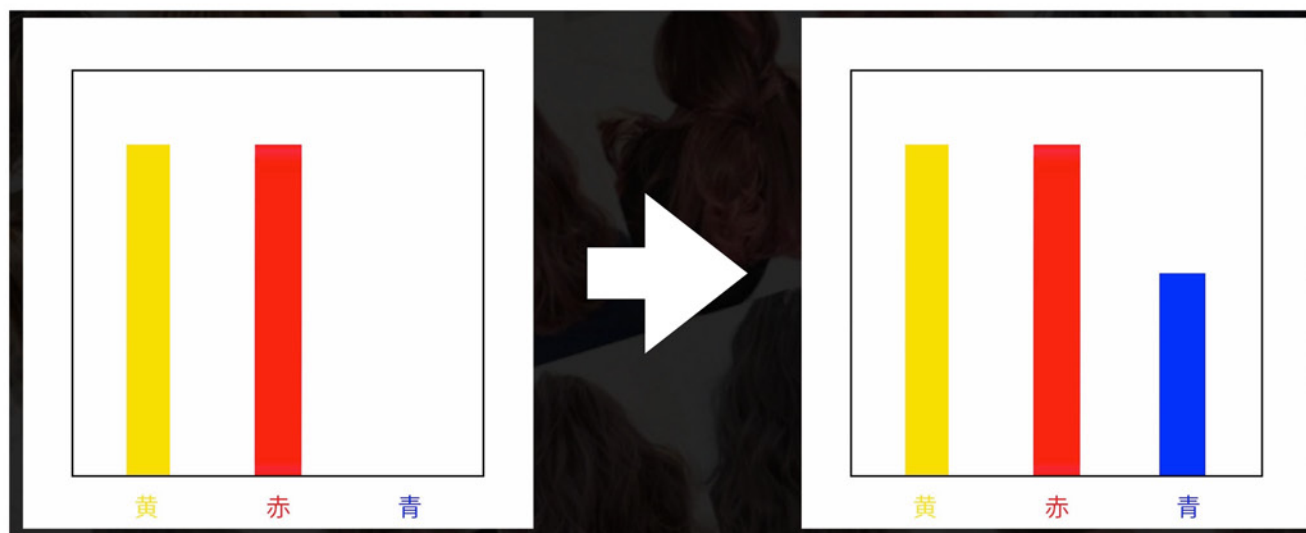
濃い黄色に薄い紫を混ぜると  
無彩色よりも手前でとまる。



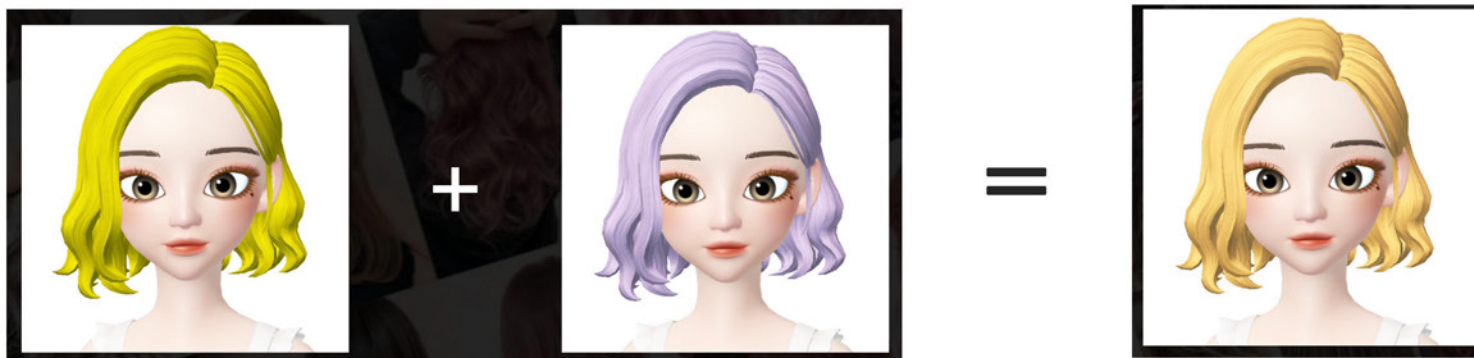
# 混色をピグメントバーで考える



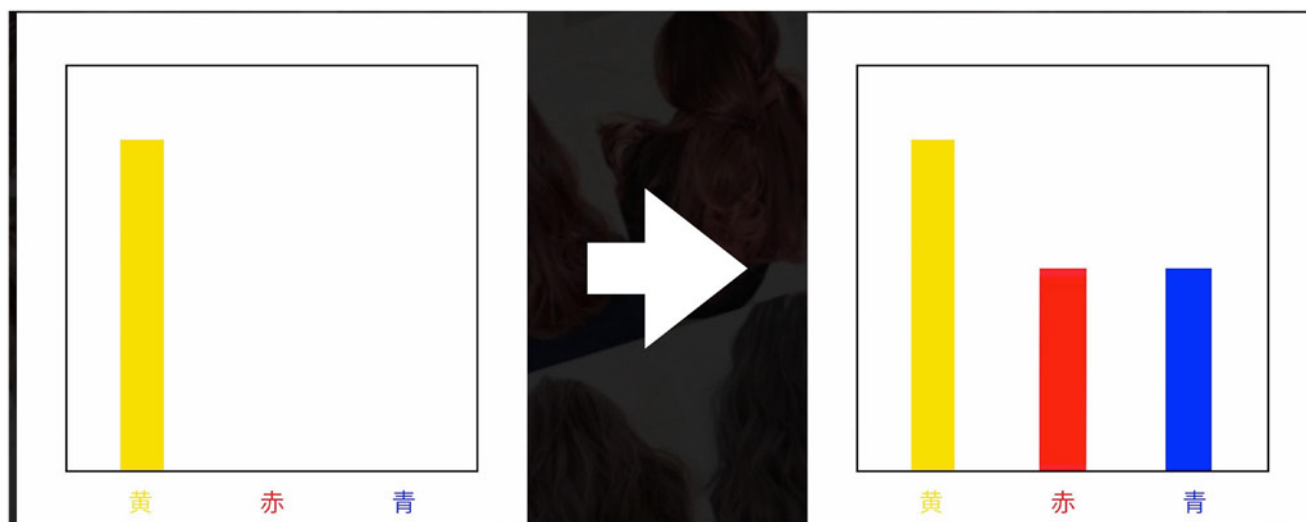
濃いオレンジに薄い青を混ぜても、まだ黄色と赤の方が多い状態＝茶色



# 混色をピグメントバーで考える



濃い黄色に薄い紫を混ぜても、黄色の量よりも赤と青が少ないため紫にはなりません。



# 混色を実際の写真で考える

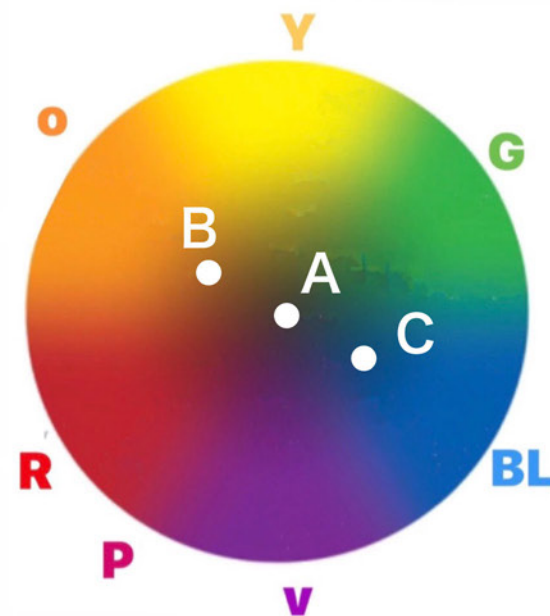
オレンジの髪を無彩色に染めたい場合の考え方。

⇒使う薬剤は「青み単品」



彩度の低いオレンジ

アディクシー7サファイア  
単品で染めた無彩色



A  
目標

B  
現状

C  
薬剤

現状の色がどこなのか？  
目指す色がどこなのかによって  
薬剤の色味と濃さを考える。

# 髪色のルール

---

全ての髪色は、作った薬剤の色味ではなく

最終的に髪に残る **黄・赤・青** の量と比率で決まる

**黄・赤・青** の量が

多ければ明度は暗くなり、少なければ明るくなる。

**黄・赤・青** の比率が

偏りが大きければ彩度は高くなり、少なければ低くなる。

濃い色から薄い色は作れない。